

科目名	地理	英語科目名	Geography
開講年度・学期	平成 28 年度通年	対象学科・専攻・学年	全学科 1 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位
担当教員	池田 和子(非常勤講師)1・2 組 原 啓介(非常勤教師)3・4・5 組	居室 (もしくは所属)	管理棟 3 階 (連絡教員 酒入)
電話	内線 173 (連絡教員)	E-mail	ysakairi@小山高専のドメイン(連絡教員)
授業の達成目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育 目標 (JABEE)	JABEE 基準 要件
1. 地理学の基本的な見方・考え方を通して、地理学の面白さ、興味深さについて説明できる。	①		
2. 人文社会科学的な素養と視点を養い、幅広い観点から物事を理解し、比較・対照し、判断する過程について熟考できる。	①		
3. 科学的、客観的な論理展開について熟考できる。	①		
4. 国際社会に生きる日本人としての自覚と素養について熟考できる。	①		
<b>各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>			
到達目標 1-3 : 授業時に提出してもらうリアクションペーパーの記述内容を、客観性・論理性で評価する。			
到達目標 1-3 : 小テスト・中間試験および定期試験において 60%以上の得点により達成とする。			
<b>評価方法</b>			
1. 授業内での作業課題・発表等 40%			
2. 中間試験・定期試験 (計 4 回) 40%			
3. 自学自習課題の提出物 20%			
<b>授業内容</b>			
1. 講義ガイダンス。地理とは何か? 暗記科目か? 工業高専生にとって必要のないモノか?			
2. 教科書・地図帳の使用法。地理の世界。地理からみた地球、世界、日本、そして小山			
3. 地理情報と地図			
4. 地図の種類と特徴			
5. 地図と地域調査			
6. 自然環境 地形			
7. 自然環境 気候			
前期中間試験			
8. 自然環境 自然と生活			
9. 自然環境 自然環境に関する諸問題			
10. 資源と産業 農林水産業			
11. 資源と産業 資源・エネルギー			
12. 資源と産業 工業			
13. 資源と産業 流通と消費			
14. 人口と村落・都市 人口			
15. 人口と村落・都市 村落・都市			
16. 生活文化と民族・宗教 衣食住			
前期期末試験			
17. 生活文化と民族・宗教 言語と宗教			
18. 生活文化と民族・宗教 民族と国家			
19. 現代世界の地誌的考察 中国			
20. 現代世界の地誌的考察 韓国			
21. 現代世界の地誌的考察 東南アジア			
22. 現代世界の地誌的考察 インド			
20. 現代世界の地誌的考察 西アジア・中央アジア			
21. 現代世界の地誌的考察 アフリカ			
22. 現代世界の地誌的考察 EU			
後期中間試験			
23. 現代世界の地誌的考察 ドイツとポーランド			
24. 現代世界の地誌的考察 ロシア			
25. 現代世界の地誌的考察 アメリカ			
26. 現代世界の地誌的考察 ブラジル			
27. 現代世界の地誌的考察 オーストラリアとカナダ			
28. 現代世界と日本 世界の中の日本			
29. 現代世界と日本 持続可能な社会に向けて			
後期期末試験			
30. 地理総括			
キーワード	地球、世界、日本、小山、地図、都市、自然環境、人文環境、先進国、途上国、比較・対照		
教科書	二宮書店『新編 詳解地理B』、二宮書店『基本地図帳』		

参考書	授業中に適宜紹介または資料のコピーを配布。
カリキュラム中の位置づけ 人文社会科学的な素養と視点を養い、幅広い観点から科学的考察を実践するための科目である	
前年度までの関連科目	なし(中学社会)
現学年の関連科目	英語、国語
次年度以降の関連科目	倫理・社会、政治・経済、歴史、哲学、人間と科学
連絡事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地理(学)や地理的な見方・考え方に暗記力や記憶力はたいして重要ではない</li> <li>2. 授業・講義への積極的な参加を期待する—好きこそモノの上手なれ—</li> <li>3. 目的・目標を持って受講して欲しい—地理は誰もが思考の武器とできる—</li> <li>4. 知識と経験を基礎に、新たな知恵を導き出してほしい—「理論と実践」「机上と現場」の両輪の活用—</li> <li>5. 国際社会の中で有用有意な議論のできる素養を養って欲しい —外国を理解することは日本を理解することにもなる—</li> </ol>	
シラバス作成 年月日	平成 28 年 2 月 22 日